

私立大学図書館協会東地区部会

研究部報告書

2024 年度

2025 年 6 月

研究部担当理事校

専修大学図書館

目次

《2024 年度研究部活動報告》	2
1 運営委員会	2
2 運営委員会・委託業者合同会議	4
3 研修委員会	5
4 その他	7
《2024 年度研修事業報告（運営委員会）》	8
1 東地区部会研修会：初任者研修、PB（Project/Problem Based）研修、スキルアップ研修	8
2 オンデマンド研修	11
3 研修報告大会	12
《2024 年度研究講演会》	13
《2024 年度研修会（研修委員会）》	13
《2024 年度研修委員会報告書》	14
《2024 年度東地区部会研究部決算報告・監査報告書》	16
《2025 年度東地区部会研究部活動計画（案）》	17
《2025 年度東地区部会研究部予算（案）》	18
《関係規程》	19

≪2024 年度研究部活動報告≫

1 運営委員会

運営委員（任期 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

委 員	辺見 純子	（帝京大学）
	柄田 明美	（国立音楽大学）
	杉本 若葉	（慶應義塾大学）
	岡本 諒子	（早稲田大学）
	細本 有理子	（成蹊大学）（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）
	杉谷 季咲	（成蹊大学）（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）
	佐々木 綾花	（立正大学）
	丸山 雄太	（大正大学）

研究部担当理事校 専修大学

飯泉 慎也

野村 彩衣

第 1 回運営委員会

日 時：2024 年 4 月 18 日（木）14：00～15：20

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度運営委員について
2. 2023 年度研究部決算報告について
3. 2024 年度研究部活動計画および予算について
4. 2024 年度東地区部会研修会・オンデマンド研修について
5. 2024 年度東地区部会研究講演会について
6. 2024 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
7. その他

第 2 回運営委員会

日 時：2024 年 5 月 28 日（火）10：10～10：45

方 法：対面（大正大学）

議 事：

1. 2024 年度研修会受講者確定について
2. 2024 年度東地区部会研究講演会について
3. 2024 年度オンデマンド研修（雑誌コース）の実施予定について
4. 私立大学図書館協会東地区部会研究部細則改訂について
5. 2024 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
6. 2024 年度第 1 回運営委員・研修委託業者合同会議について

7. その他

第3回運営委員会

日 時：2024 年 7 月 12 日（金）14：00～14：35

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度東地区部会総会について
2. 2024 年度研究講演会について
3. 2024 年度東地区部会研修会について
4. 2024 年度オンデマンド研修（雑誌コース）について
5. 2024 年度東地区部会研究部報告書について
6. 2024 年度研究部運営委員会日程および協会スケジュールについて
7. その他

第4回運営委員会

日 時：2024 年 10 月 24 日（木）14：00～15：15

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度オンデマンド研修（雑誌コース）実施状況報告
2. 2024 年度研修報告大会について
3. 2025 年度研究講演会テーマ・研修事業コースの設定について
4. 2024 年度第2回運営委員会・委託業者合同会議について
5. 2024 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
6. その他

第5回運営委員会

日 時：2024 年 12 月 5 日（木）15：40～16：20

方 法：対面（大正大学）

議 事：

1. 次年度以降の研修事業について
2. その他

第6回運営委員会

日 時：2025 年 1 月 17 日（金）10：00～10：30

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度オンデマンド研修（雑誌コース）アンケート集計結果報告
2. 2024 年度研修報告大会実施報告

3. 2025 年度東地区部会研究部活動計画について
4. 2024 年度中間決算について
5. 2025 年度予算案について
6. 2024 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
7. その他

第 7 回運営委員会

日 時：2025 年 3 月 13 日（木）14：00～15：10

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研究部会務および活動報告について
2. 2024 年度中間決算について
3. 2024 年度研修委員会活動報告について
4. 2024 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
5. 2025 年度東地区部会研究部運営委員および活動計画について
6. 2025 年度予算案について
7. 2025-2026 年度研究部の運営について
8. その他

2 運営委員会・委託業者合同会議

2024 年度委託業者

NPO 法人大学図書館支援機構（以下「IAAL」）

富士通 Japan 株式会社（以下「富士通」）

第 1 回運営委員会・委託業者合同会議

①富士通

日 時：2024 年 5 月 28 日（火）11：10～11：30

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研究部活動計画について
2. 2024 年度研修 5 月報告（富士通）
3. 2023 年度研修中間評価について
4. 2023 年度研修報告大会について
5. 2024 年度研修実施計画・実施報告資料について
6. その他

②IAAL

日 時：2024 年 5 月 28 日（火）11：45～12：00

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研究部活動計画について
2. 2024 年度研修 5 月報告（IAAL）
3. 2023 年度研修報告大会について
4. 2024 年度研修実施計画・実施報告資料について
5. その他

第 2 回運営委員会・委託業者合同会議

①富士通

日 時：2024 年 11 月 21 日（木）10：00～10：25

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研修事業実施状況報告（研究部）
2. 2024 年度研修事業実施状況報告（富士通）
3. 2024 年度研修事業に関する中間評価
4. 2024 年度研修報告大会について
5. 2024 年度研修報告資料の提出依頼について
6. 2025 年度研修事業（案）について
7. その他

②IAAL

日 時：2024 年 11 月 21 日（木）11：00～12：00

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研修事業実施状況報告（研究部）
2. 2024 年度研修事業実施状況報告（IAAL）
3. 2024 年度研修事業に関する中間評価
4. 2024 年度研修報告大会について
5. 2024 年度研修報告資料の提出依頼について
6. 2025 年度研修事業（案）について
7. その他

3 研修委員会

研修委員（任期 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

委 員 長 阪下 清香 （早稲田大学）

委 員 長坂 功 （慶應義塾大学）

丸山 雄大 （大正大学）

山田 祐子 (中央大学)
長谷 有希子 (明治大学)
ワザバー 松下 裕 (明治大学)
事務局 専修大学 (任期 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)
中田 真美子
水本 啓右

第 1 回研修委員会

日 時：2024 年 4 月 19 日 (金) 13：00～15：00

方 法：対面 (専修大学)

議 事：

1. 2024 年度研修委員会について
2. 2024 年度研修会のテーマについて
3. その他

第 2 回研修委員会

日 時：2024 年 5 月 29 日 (水) 13：00～15：00

方 法：Web 会議 (専修大学)

議 事：

1. 2024 年度研修会のテーマについて
2. その他

第 3 回研修委員会

日 時：2024 年 6 月 25 日 (火) 13：00～15：00

方 法：対面 (早稲田大学)

議 事：

1. 2024 年度研修会プログラムについて
2. その他

第 4 回研修委員会

日 時：2024 年 7 月 18 日 (木) 13：00～14：30

方 法：Web 会議 (専修大学)

議 事：

1. 講師と講演内容打ち合わせ
2. 2024 年度研修会プログラムについて
3. その他

第5回研修委員会

日 時：2024 年 9 月 27 日（金）10：00～16：00

方 法：対面（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研修会の実施方法について
2. その他

第6回研修委員会

日 時：2024 年 10 月 4 日（金）10：00～16：00

方 法：対面＋Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研修会の実施方法について
2. その他

第7回研修委員会

日 時：2024 年 12 月 20 日（金）10：00～10：40

方 法：Web 会議（専修大学）

議 事：

1. 2024 年度研修会について（振り返り）
2. その他

4 その他

研究部による安定的な研修事業の実施を目標とした組織の見直しについて、2023 年度から運営委員会、研修委員会にて検討を始め、2024 年度の第 1 回役員会にて承認され、6 月の地区部会総会においても承認された。これにより、2025 年度より運営委員会と研修委員会を統合することとした。

2023 年度から研究部で導入した Microsoft365 では、運営資料等についてクラウド上でのデータの引継ぎが可能となった。また、会議は Teams での Web 会議を基本とし、必要に応じて対面開催とした。さらに Teams にて各委員会開催以外での情報共有の機会を増やし、随時意見交換をすることで、活動に関する検討をスムーズに行うことも可能となった。

以 上

≪2024 年度研修事業報告（運営委員会）≫

1 東地区部会研修会：初任者研修、PB（Project/Problem Based）研修、スキルアップ研修 （別紙1 参照）

2022 年度より開始した東地区部会研修会について、今年度は「初任者研修」「Problem Based 研修」「スキルアップ研修（6 コース）」を実施した。募集当初全体で 124 名の参加申込があったが、人事異動等により 10 名が途中辞退となった。一部のコースについてはオンラインに加えて対面でも実施したが、東京近郊以外からの参加もあり、オンラインでの実施が浸透してきていることが確認できた。研修の実施に当たっては、NPO 法人大学図書館支援機構（以下「IAAL」）と富士通 Japan 株式会社（以下「富士通」）に実施業務を委託した。また、研修受講者による研修報告大会をオンライン開催・オンデマンド配信で行った。

1.1 初任者研修（参加者数：24 名、実施形式：オンライン／対面、担当：IAAL）

専任の大学図書館職員に求められるマネージメント力と、知識を自ら探求し、現状を多角的に分析、評価して業務を遂行する能力を身につけることを目標とした。

第 1 回 2024 年 6 月 28 日（金）

初任者研修ガイダンス・講演「大学図書館の現状と課題」

第 2 回 2024 年 7 月 12 日（金）

「情報資源と組織化」に関する講義と演習

第 3 回 2024 年 8 月 30 日（金）

見学ツアー（青山学院大学マクレイ記念館/実践女子大学図書館・向田邦子文庫見学）

第 4 回 2024 年 10 月 11 日（金）

「図書館サービス」に関する講義と演習

第 5 回 2024 年 11 月 17 日（木）

見学ツアー（図書館総合展参加）

1.2 PB（Problem Based）研修（参加者数：6 名、実施形式：オンライン、担当：IAAL）

各大学図書館で抱える問題や、より良いサービスに向けた課題を参加者（受講者）間で共有し、参考になる知見を集め、解決に向けたアイデアを出し合う機会を提供する課題解決型（Problem Based）の研修目的とした。

第 1 回 2024 年 5 月 31 日（金）

自己紹介・問題確認ワークショップ

第 2 回 2024 年 6 月 28 日（金）

専門家による「データ分析・活用」レクチャー

第 3 回 2024 年 7 月 26 日（金）

課題への取り組み

第 4 回 2024 年 9 月 13 日（金）

事例を挙げて調べる

第5回 2024年10月18日(金)

事例を整理する

第6回 2024年11月15日(金)

課題への取り組み(まとめ)

1.3 スキルアップ研修

初任者研修に続く研修として、図書館業務個別の問題・課題に対し、発展的に学び知見とノウハウを深め、更に主体的に解決していくと共に効果的に成果を公開していくための能力を身につける場としている。

1.3.1 和漢古典籍コース(参加者数:9名、実施形式:オンライン/対面、担当:IAAL)

和漢古典籍資料を所蔵している大学図書館は多く、古典籍資料の扱いには専門知識が必要となる。特に、書誌学的知識なくしては、その書誌を作成することは難しい。たとえば、書名をどこから取るか、刊記の情報を出版年として採用してよいか、刊記がない場合の出版年をどのように推定するか、印記の読解方法など、個人で学習するには難しい問題が数多い。書誌学的知識を学ぶことで、古典籍資料の扱い方や書誌作成の能力を身につけることを目標とした。

第1回 2024年9月10日(火)

和漢古書の基礎知識

第2回 2024年9月17日(火)

出版事項について

第3回 2024年9月24日(火)

タイトルと責任表示

第4回 2024年10月1日(火)

巻数・版式の記録

第5回 2024年10月8日(火)

実際の資料をもとにした集合研修

第6回 2024年10月15日(火)

実際の資料をもとにした集合研修

第7回 2024年10月22日(火)

実際の資料をもとにした集合研修

第8回 2024年10月29日(火)

実際の資料をもとにした集合研修

1.3.2 電子リソースコース(参加者数:20名、実施形式:オンライン、担当:IAAL)

大学図書館で提供する資料の大きな部分を占めるようになった電子リソースについて、種類や成り立ち、紙の資料とは異なる技術的な側面、利用促進や効率的な管理方法、価格高騰への対策などを全体的に理解し、各図書館での導入や運用に役立てるようになることを目的

とした。

- 第1回 2024年5月28日（火）
電子リソースの種類と成り立ち
- 第2回 2024年6月25日（火）
電子リソースの流通とビジネス
- 第3回 2024年7月30日（火）
電子リソースに関わる技術
- 第4回 2024年8月27日（火）
電子リソースの管理
- 第5回 2024年9月24日（火）
電子リソースの課題と活用
- 第6回 2024年10月29日（火）
電子リソースの運用

1.3.3 機関リポジトリコース（参加者数：24名、実施形式：オンライン、担当：IAAL）

すでに図書館業務として当たり前になっている「機関リポジトリ」に関する知識の習得を目標とした。業務を円滑あるいは発展的に遂行するには「機関リポジトリ」を軸とした周辺情報を理解し、最新情報を常にキャッチアップしていく必要があり、機関リポジトリ業務はもちろん、学術情報流通に貢献できる人材になることを目指した。

- 第1回 2024年6月6日（木）
学術情報流通とオープンアクセス
- 第2回 2024年7月11日（木）
機関リポジトリ概論
- 第3回 2024年9月26日（木）
担当者の役割と著作権
- 第4回 2024年10月24日（木）
リポジトリのコンテンツ収集

1.3.4 レファレンスコース（参加者数：17名、実施形式：オンライン、担当：IAAL）

レファレンス業務に必要なツールの基礎知識と、利用者のニーズを的確に把握する技術の習得を目的とした。また、情報検索やオンラインレファレンス等の最近のツールの共同調査を行うことを通して、利用者により質の高いサービス提供をめざすレファレンス担当者間のコミュニケーションの場を提供した。

- 第1回 2024年6月14日（金）
レファレンス業務概論
- 第2回 2024年7月19日（金）
レファレンスインタビュー
- 第3回 2024年9月6日（金）

専門家による「プロとしての情報検索」レクチャー

第4回 2024年10月25日（金）

オンラインレファレンス事例研究

第5回 2024年11月22日（金）

オンラインレファレンス事例まとめ

1.3.5 利用者教育コース（参加者数：5名、実施形式：オンライン、担当：IAAL）

大学図書館の利用者教育の理想像を再考し、事例紹介を通じて現状とのギャップを分析し、学習理論やインストラクショナルデザインの基礎を学んだ。アクションプランを立てて実践し、フィードバックを受けて改善し、職場での実践に活かせることを目的とした。

第1回 2024年6月1日（土）

大学図書館における『利用者教育のあるべき姿』について、改めて考える

第2回 2024年7月5日（金）

参加者の大学図書館における利用者教育の現状から学ぶ

第3回 2024年8月2日（金）

自大学図書館の利用者教育の課題解決に向けて必要な知識を学ぶ

第4回 2024年9月13日（金）

自大学図書館の利用者教育の改善案を考える

第5回 2024年10月4日（金）

自大学図書館の利用者教育の改善案を実践する

1.3.6 データ分析・活用コース（参加者数：9名、実施形式：オンライン、担当：富士通）

図書館のDXが進み、入館者数や貸出冊数以外にも様々なデータを取得することが可能となってきた。様々なデータを有効活用し、図書館の施策に反映させるためには、データを加工、分析する必要がある。この研修では、基礎から学び、実務として活かせるようになることを目的とした。

第1回 2024年5月29日（水）

データ分析をはじめる－データ分析の型を学ぶ

第2回 2024年6月25日（火）

自校のデータを読み解く1－データ分析を体験する

第3回 2024年7月24日（水）

自校のデータを読み解く2－データ分析を体験する

第4回 2024年10月10日（木）

自校の課題を考える－課題抽出を体験する

2 オンデマンド研修（別紙2参照）

2017年度から実施している委託業者提供のラーニングマネジメントシステムを利用した研修。

2.1 雑誌コース（参加者数：30 名、修了者数：28 名）

開催期間：2024 年 7 月 26 日（金）～10 月 24 日（木）

2.2 図書コース

NCR2018 の NACSIS-CAT 適用に係る教材改訂の為 2024 年度は中止。

3 研修報告大会（別紙 1 参照）

日時：2024 年 12 月 13 日（金）13:00～17:00

方法：オンライン開催・オンデマンド配信（専修大学）

録画映像公開期間：2024 年 12 月 25 日（水）～2025 年 1 月 31 日（金）

出席者：126 名

動画視聴回数：448 回

司会：研究部運営委員会委員 成蹊大学図書館 杉谷 季咲

挨拶：研究部担当理事校 専修大学図書館長 廣瀬 玲子

研修報告

① 初任者研修

② PB（Problem Based）研修

③ スキルアップ研修（和漢古典籍コース）

④ スキルアップ研修（電子リソースコース）

⑤ スキルアップ研修（機関リポジトリコース）

⑥ スキルアップ研修（レファレンスコース）

⑦ スキルアップ研修（利用者教育コース）

⑧ スキルアップ研修（データ分析・活用コース）

研究部からのお知らせ：研究部担当理事校 専修大学図書館 飯泉 慎也

以 上

≪2024 年度研究講演会≫（別紙 3 参照）

日時：2024 年 6 月 7 日（金）13：00～16：00

方法：オンライン開催・オンデマンド配信（専修大学）

録画映像公開期間：2024 年 6 月 14 日（金）～7 月 31 日（水）

出席者：100 名

動画視聴回数：739 回

テーマ：オープンサイエンス政策に私立大学図書館はどう向き合うか

司会：研究部運営委員会委員 成蹊大学図書館 杉谷 季咲

挨拶：研究部担当理事校 専修大学図書館長 廣瀬 玲子

講演 1：「オープンサイエンスの潮流と科学と社会の変容：政策の狙いと図書館の可能性」

文部科学省科学技術・学術政策研究所

データ解析政策研究室室長 林 和弘 氏

講演 2：「オープンサイエンス政策をふまえた私立大学図書館の研究データ管理（RDM）」

文教大学文学部准教授 池内 有為 氏

≪2024 年度研修会（研修委員会）≫（別紙 4 参照）

日時：2024 年 10 月 18 日（金）13：00～16：00

方法：オンライン開催、オンデマンド配信（専修大学）

録画映像公開期間：2024 年 11 月 1 日（金）～11 月 30 日（土）

出席者：102 名

動画視聴回数：延べ 334 回

テーマ：プロに学ぶ、結果を出す情報発信のポイント

司会：研究部研修委員会委員 明治大学図書館 長谷 有希子

挨拶：研究部研修委員会委員長 早稲田大学図書館 阪下 清香

講演 1：「POP 作成のコツと展示のポイント」

ブックジャーナリスト 内田 剛 氏

講演 2：「図書館員のためのウェブサイト・コンテンツの作成手法」

株式会社 SUITED 代表 原沢 竜太 氏

講演 3：「大学図書館の SNS 活用講座～情報発信からファンづくりまで～」

一般社団法人 SNS エキスパート協会代表理事 後藤 真理恵 氏

≪2024 年度研修委員会報告書≫

2024 年度研修委員会活動報告

東地区部会研究部研修委員会

委員長 阪下 清香（早稲田大学）

1. 研修委員（任期 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

委員長	阪下 清香	（早稲田大学）
委員	長坂 功	（慶應義塾大学）
	丸山 雄大	（大正大学）
	山田 祐子	（中央大学）
	長谷 有希子	（明治大学）
	水本 啓右	（専修大学）※事務局（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）
	中田 真美子	（専修大学）※事務局（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）
オブザーバー	松下 裕	（明治大学）

2. 委員会活動概況

年間 7 回（4、5、6、7、9、10、12 月）の委員会を以下のとおり開催した。

第 1 回 2024 年 4 月 19 日（金）

2023 年度委員会から研修会の方向性や開催方法を引継ぎ、研修会内容の検討を行った。開催方法はオンラインで行うことを決定した。テーマについては、大学図書館が日常的に行っている業務に着目し、企画展示紹介、ポップ作成方法、図書館ホームページや学生向けガイダンスコンテンツなどの作成方法、SNS の情報発信方法などといった内容とともに講師候補の検討を行った。

第 2 回 2024 年 5 月 29 日（水）

研修会テーマは「プロに学ぶ、結果を出す情報発信のポイント（仮）」とし、資料の展示や SNS、ホームページやオンデマンドコンテンツの作成といった「情報発信」を図書館の規模に関係なく参考にしてもらえるような研修会を行うこととした。

第 3 回 2024 年 6 月 25 日（火）

講演・事例紹介をしていただく候補講師から承諾が得られことから研修プログラムを確定し、研修会当日の役割分担、リハーサル日程等の調整を行った。

第 4 回 2024 年 7 月 18 日（木）

講演者と講演内容について打合せを行った。講演方法については、従来の PPT のスライド形式と、講義のライブ配信方法の検討を行った。事例紹介については、研修委員所属大学図書館から展示候補を提示し、講師に選定いただくこととした。

第 5 回 2024 年 9 月 27 日（金）・第 6 回 2024 年 10 月 4 日（金）

リハーサルを実施、講師への説明と当日の進行・配布資料および研修会終了後のオンデマンド動画公開の確認等を行い、10 月 18 日（金）の研修会当日を迎えた。

第7回 2024年12月20日（金）

オンデマンド視聴結果を含めた研修会実施の概況、アンケート結果を各委員が確認し、研修会の振り返りを行った。ライブ配信形式を取り入れ、オンラインでも対面での研修に遜色のない効果を狙い、一定の評価を得ることができたことも確認した。

3. 2024 年度研修会

（1）実施概要

- ・テーマ：「プロに学ぶ、結果を出す情報発信のポイント」
- ・日時：2024年10月18日（金） 13：00～16：00
- ・方法：オンライン開催、オンデマンド配信（専修大学）
録画映像公開期間：11月1日（金）～11月30日（土）
- ・参加者数：102名（動画視聴回数：延べ334回）

（2）開催趣旨/概要

2024年度の研修会は、図書館の規模などに関係なく、より多くの機関が参考になるような日常業務に着目し、図書館が持つ魅力的なコンテンツやサービスの「情報発信」をテーマとした。具体的には、手軽に作れるポップを使った効果的な展示のやり方や、最新の利用者動向分析に基づくウェブサイトやコンテンツの作成手法、SNSを安全かつ有効に活用する方法について取り上げます。講師は外部からお招きし、プロフェッショナルな外からの視点で、日常業務を見直すこともねらいとし、図書館員の基本的なスキル・表現力を向上させ、提供するサービスや情報発信のレベルアップを目指す講演会とした。

なお、東地区部会研究部の組織見直しに伴い、2024年度をもって、研究部研修委員会主催の研修会は最終回となった。

以 上

「2024 年度東地区部会研究部決算報告・監査報告書」

2024年度 私立大学図書館協会東地区部会 研究部
決算報告
(2024年4月1日～2025年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額(A)	執行額(B)	差異(A-B)	備考
部会交付金	4,293,418	4,293,418	0	任期2年目は、2024年度研究部事業予算(雑収入500円を除く)に対し、前年度繰越金を差し引いた額を交付
研究会参加費収入	0	0	0	
研修会参加費収入	0	0	0	
雑収入	500	1,194	△ 694	預金利息・口座解約金利息 2023年度計上漏れの預金利息11円を含む
小計	4,293,918	4,294,612	△ 694	
前年度繰越金	1,527,082	1,527,082	0	
合計	5,821,000	5,821,694	△ 694	

支出の部

科目	予算額(A)	執行額(B)	差異(A-B)	備考
研究講演会(部会総会)開催費	150,000	58,016	91,984	講師謝礼・飲み物代
研修報告大会開催費	150,000	2,015	147,985	飲み物代
研修会開催費	150,000	105,588	44,412	講師謝礼・飲み物代・交通費
研修会(地域研修)開催費	0	0	0	
研修事業委託費	4,386,000	4,297,040	88,960	
内訳				
各コース共通運営費	165,000	165,000	0	対象: 初任者研修、Problem Based研修、スキルアップ研修5コース(データ分析・活用コース以外)
初任者研修	605,000	605,000	0	
Problem Based研修	495,000	440,000	55,000	
スキルアップ研修	2,778,000	2,722,500	55,500	2024年度は6コース
オンデマンド研修	343,000	364,540	△ 21,540	2024年度は雑誌コースのみ実施 予算作成時25名を想定していたが29名受講
研修会助成金	0	0	0	2024年度より研修事業委託費へ移行し、助成金の科目廃止
特別助成金	0	0	0	
運営委員会費	650,000	610,500	39,500	オンライン業務環境サービス関連契約費用 (Microsoft365 25アカウント)
運営委員会・研修事業委託業者 合同会議開催費	10,000	0	10,000	年1回(5月・11月)
研修委員会費	100,000	0	100,000	
研究部活動費	50,000	0	50,000	研究部活動 (運営委員会・研修委員会含む)
印刷費	0	0	0	
通信費	25,000	0	25,000	
運営事務費	50,000	5,070	44,930	振込手数料・収入印紙代
小計	5,721,000	5,078,229	642,771	
予備費	100,000	0	100,000	
合計	5,821,000	5,078,229	742,771	
東地区部会の戻入額	0	743,465	△ 743,465	
総計	5,821,000	5,821,694	△ 694	

上記のとおり報告いたします。

2025年 3月31日
私立大学図書館協会東地区部会 研究部担当理事 専修大学図書館



2024年度に係る決算報告書及び付属書類について、その信憑書類及び帳簿を監査しました結果、適正であることを認めます。

2025年4月1日
私立大学図書館協会東地区部会 監事 成蹊大学図書館



≪2025 年度東地区部会研究部活動計画（案）≫

2025 年度 私立大学図書館協会東地区部会研究部 活動計画（案）

（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

1. 活動計画

- （１） 研究部研修事業の実施・評価
- （２） 2024 年度研究部報告書の発行

2. 行事・会議

（１） 運営委員会

① 会議

1) 運営委員会

研究部の活動計画、予算・決算、研究部の運営その他について協議し、活性化に向けた活動を行う。年 6 回程度開催。

2) 運営委員・研修委託事業者合同会議

研修事業計画、運営その他について協議する。5 月、11 月下旬の年 2 回開催。

② 研修事業（委託）

1) 東地区部会研修会の実施（年 5 回程度）。

➤ 初任者研修

➤ Problem Based 研修

➤ スキルアップ研修（3 コース）

2) 研修報告大会

1)の報告会として 12 月にオンライン開催・オンデマンド配信にて実施予定。

3) オンデマンド研修の実施

➤ 図書コース：8 月～10 月に開講。

➤ 雑誌コース：NCR2018 の NACSIS-CAT 適用に係る教材改訂の為 2024 年度は中止。

③ その他イベント

1) 研究講演会

6 月にオンライン開催・オンデマンド配信にて実施予定。

2) その他

加盟校の要望を踏まえて開催を検討する。

（２） 研究部報告書

2024 年度の研究部活動報告を 6 月に発行する。

以 上

≪2025 年度東地区部会研究部予算（案）≫

2025年度 私立大学図書館協会東地区部会 研究部

予算(案)

(2025年4月1日～2026年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	25年度予算(A)	24年度予算(B)	差異(A-B)	備考
部会交付金	4,118,500	4,293,418	△ 174,918	2016年度より支出に応じた交付
研究会参加費収入	0	0	0	科目廃止:運営委員会と研修委員会の統合に伴い、2025年度より研修事業等参加費収入に移行
研修会参加費収入	0	0	0	科目廃止:運営委員会と研修委員会の統合に伴い、2025年度より研修事業等参加費収入に移行
研修事業等参加費収入	0	0	0	新規科目:繰越金の余剰を加盟校へ還元することを目的とし、2024年度・2025年度の参加費徴収なし
雑収入	500	500	0	預金利息等
小計	4,119,000	4,293,918	△ 174,918	
前年度繰越金	0	1,527,082	△ 1,527,082	
合計	4,119,000	5,821,000	△ 1,702,000	

支出の部

科目	25年度予算(A)	24年度予算(B)	差異(A-B)	備考
研究講演会(部会総会)開催費	150,000	150,000	0	講師謝礼他
研修報告大会開催費	150,000	150,000	0	
研修会開催費	0	150,000	△ 150,000	科目廃止:運営委員会と研修委員会の統合に伴い、2025年度よりイベント等開催費に移行
イベント等開催費	150,000	0	150,000	新規科目
研修事業委託費	2,784,000	4,386,000	△ 1,602,000	
内訳				
各コース共通運営費	0	165,000	△ 165,000	対象: 初任者研修、Problem Based研修、スキルアップ研修3コース(2025年度は各研修毎に見積)
初任者研修	563,000	605,000	△ 42,000	
Problem Based研修	418,000	495,000	△ 77,000	
スキルアップ研修	1,253,000	2,778,000	△ 1,525,000	2025年度は3コース
オンデマンド研修	550,000	343,000	207,000	2025年度は図書コースのみ実施
運営委員会費	500,000	650,000	△ 150,000	オンライン業務環境サービス関連契約費用等(Microsoft365 15アカウント)
運営委員会・委託業者合同会議開催費	10,000	10,000	0	年2回(5月・11月)
研修委員会費	0	100,000	△ 100,000	科目廃止: 2025年度より研修委員会は運営委員会に統合
研究部活動費	50,000	50,000	0	
印刷費	0	0	0	
通信費	25,000	25,000	0	
運営事務費	50,000	50,000	0	振込手数料他
小計	3,869,000	5,721,000	△ 1,852,000	
予備費	250,000	100,000	150,000	
合計	4,119,000	5,821,000	△ 1,702,000	
東地区部会への戻入額	0	0	0	
総計	4,119,000	5,821,000	△ 1,702,000	

私立大学図書館協会東地区部会研究部細則

(昭和 29 年 4 月 1 日 制定)
(昭和 34 年 5 月 8 日 改訂)
(昭和 34 年 10 月 14 日 改訂)
(昭和 44 年 2 月 18 日 改訂)
(昭和 63 年 6 月 28 日 改訂)
(平成 7 年 8 月 2 日 改訂)
(2000 年 6 月 9 日 改訂)
(2004 年 6 月 18 日 改訂)
(2017 年 6 月 9 日 改訂)
(2022 年 6 月 16 日 改訂)
(2023 年 6 月 15 日 改訂)
(2024 年 6 月 13 日 改訂)

- 第 1 条 この細則は、私立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第 28 条第 1 項第 3 号、第 33 条に基づいて、私立大学図書館協会東地区部会（以下「東地区部会」という。）に研究部を設置し、事務所を東地区部会研究部担当理事校（以下「研究部担当理事校」という。）に置くことを定める。
- 第 2 条 研究部は、会則第 33 条の目的達成のために次の事業を行う。
- ① 研修事業の実施
 - ② 研修報告大会の開催
 - ③ 報告書の発行
 - ④ 西地区部会研究会との連絡、情報の交換
 - ⑤ その他研究部の目的達成に必要な事項
- 第 3 条 研修事業は、東地区加盟校館員の資質の向上を図るために研究部で年間計画を立てて実施する。研修事業の実施にあたり、東地区加盟校の要望などを踏まえて検討することとする。
- 第 4 条 2 研修報告大会は、研修事業での成果発表及び研究部の事業についての報告その他を行う。研修報告大会の実施は、対面・オンライン等の形式は問わないものとする。
- 第 5 条 報告書は、第 2 条の各事業の状況及び研修成果を発表するもので、研究部担当理事が編集の責任に当たる。
- 第 6 条 研究部には、次の役員を置く。
- ① 研究部担当理事 1 名
 - ② 運営委員 5 名以上 9 名以内
(東地区部会役員校 2 名、東地区加盟校 3 名以上 7 名以内)
- 第 7 条 研究部担当理事には、研究部担当理事校の代表者が当たり、研究部を代表し、かつこれを統轄する。
- 第 8 条 運営委員は、隔年 4 月東地区加盟館から研究部担当理事が推薦し、東地区部会役員会の承認を得た上、研究部担当理事をたすけて研究部の運営に当たる。

第 9 条 研究部には、その運営を円滑ならしめるため、運営委員会を置く。

第 10 条 運営委員会は、研究部担当理事が招集し、次の事項を行う。ただし、必要に応じて研修事業関係者あるいは当該研修報告大会会場代表者の出席を求めることができる。

- ① 研究部の事業計画
- ② 研修事業に関する連絡、情報の交換の企画運営
- ③ 研修報告大会の運営に関する事項
- ④ 研究部報告の編集、発行
- ⑤ その他研究部の運営に関する事項

第 11 条 研究部の経費は、東地区部会の助成金及びその他を充てる。ただし、必要に応じて実費を徴収することができる。

第 12 条 研究部の運営について必要な事項は、別に定めることができる。

第 13 条 本細則の改廃は、東地区部会総会の承認を要する。

附 則

- 1 本細則は昭和 29 年 4 月 1 日よりこれを実施する。
- 2 本改訂細則は昭和 34 年 5 月 8 日よりこれを実施する。
- 3 本改訂細則は昭和 35 年 10 月 14 日よりこれを実施する。
- 4 本改訂細則は昭和 44 年 2 月 18 日よりこれを実施する。
- 5 本改訂細則は昭和 63 年 6 月 28 日よりこれを実施する。
- 6 本改訂細則は平成 8 年 4 月 1 日よりこれを実施する。
- 7 本改訂細則は 2001 年 4 月 1 日よりこれを実施する。
- 8 本改訂細則は 2004 年 6 月 18 日よりこれを実施する。
- 9 本改訂細則は 2017 年 4 月 1 日よりこれを実施する。
- 10 本改訂細則は 2023 年 4 月 1 日よりこれを実施する。
- 11 本改訂細則は 2023 年 6 月 15 日よりこれを実施する。
- 12 本改訂細則は 2025 年 4 月 1 日よりこれを実施する。
- 13 本細則の改訂に伴い、私立大学図書館協会東地区部会研究部研修委員会規則（昭和 56 年 4 月 1 日制定）は廃止する。

私立大学図書館協会東地区部会研究部研修委員会規則

(昭和 56 年 4 月 1 日制定)

(平成 2 年 4 月 1 日改正)

(平成 8 年 3 月 28 日改正)

(2016 年 12 月 9 日改正)

(2024 年 6 月 13 日改正)

第 1 条 この規則は、私立大学図書館協会東地区部会研究部（以下「研究部」という。）に設置する研修委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

第 2 条 委員会は、東地区加盟館館員の資質の向上を図るため、次の活動を行う。

- ① 研修会等に関する情報の収集、提供
- ② 研修会等の企画、実施
- ③ 関連する機関、団体との連絡・協力
- ④ その他目的達成のために必要な活動

第 3 条 委員会は、6 名以上 8 名以内の委員をもって構成し、うち 1 名もしくは 2 名は研究部担当理事校（以下「担当理事校」という。）から選出する。

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、担当理事校から選出された委員の任期は、担当理事校の担当期間とする。

第 5 条 委員に欠員が生じた場合はこれを補充するものとし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 6 条 委員会に、委員長 1 名及び副委員長 1 名を置く。

- 2 委員長は、委員会を招集し、議事を進行する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第 7 条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 3 委員会は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

第 8 条 委員長及び委員は、東地区加盟館から研究部担当理事（以下「担当理事」という。）が推薦し、東地区部会役員会に諮り、これを委嘱する。

2 第 6 条に定める副委員長は、委員長が指名する委員をもって充てる。

第 9 条 委員長は、委員会の活動について、担当理事に対し、少なくとも年 2 回以上報告しなければならない。

第 10 条 委員会の事務経費については、私立大学図書館協会東地区部会研究部細則第 11 条を準用する。ただし、研修会等を実施する際の費用は、必要に応じて実費を徴収することができる。

第 11 条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会申し合わせとして別に定めることができる。

第 12 条 この規則の改廃については、研究部運営委員会の承認を必要とする。

附 則

1 この規則は平成 8 年 4 月 1 日より施行する。

2 この改正規則は 2017 年 4 月 1 日より施行する。

3 この規則は 2025 年 3 月 31 日をもって廃止する。